

令和7年度 第1回吉見町総合教育会議 会議録

開催通知	令和7年5月19日	
開催期日	令和7年6月 2日	
開会場所	吉見町役場 3階大会議室	
開閉日時	令和7年6月 2日 午後2時00分から	
	令和7年6月 2日 午後3時00分まで	
議 長	神 田 隆 町 長	
出席委員	町 長	神 田 隆
	教 育 長	岡 崎 康 友
	教育長職務代理者	長 嶋 和 義
	委 員	高 木 信 恵
	委 員	田 村 恵 子
	委 員	平 川 真 海
意見聴取のための出席者	吉見町立小学校統合再編準備委員会委員長	久 保 田 秀 至
	吉見町立小学校統合再編準備委員会副委員長	小 池 幸
会議出席者	総 務 課 長	内 野 隆
	教育総務課長	矢 嶋 久 雄
	生涯学習課長	関 口 哲 也
	教育総務課課長補佐	島 田 久 司
	教育総務課主任指導主事 兼教育総務課課長補佐	堀 口 知 彦
	教育総務課指導主事兼 教育総務課課長補佐兼 学校教育係長	堀 口 将 吾

	教育総務課小学校統合 準備係長	礪 田 和 伸
	教育総務課小学校統合 準備係主任	松 本 晃
書 記	教育総務課課長補佐兼 総務係長	田 村 浩

○顛末

1 開 会

(教育総務課長より開会が告げられる。また、吉見町総合教育会議設置要綱第5条による意見聴取のため、吉見町立小学校統合再編準備委員会の久保田秀至委員長、小池幸副委員長の出席が告げられる)

2 あいさつ

(町長よりあいさつ)

3 議 事

教育総務課長 議事進行につきましては、吉見町総合教育会議設置要綱第4条第1項に基づき、町長に議長をお願いいたします。

(1) 小学校統合再編について

町 長 要綱に基づき、議長を務めさせていただきます。御協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは初めに、小学校の統合再編について、私の意見を述べさせていただきます。

少子高齢化により子供が減少している中、都市計画に基づく街づくりを行いながら人口を減らさないということは自治体の将来像を見据える上で、小学校の統合再編も含め非常に難しい課題であると認識しています。私は小学校の統合再編について議論し推進することについては賛成しています。しかし、その中でスクールバスの運用方法など課題もあると思います。その課題を1つ1つ考えていかなければなりません。そうした中で、本来であれば、児童には良い学校で、良い環境で過ごしていただきたいが、町の財政状況を見ると統合再編については、児童数の減少が少ない市街化区域に位置する東第一小学校と、災害対策本部の代替設置場所である西小学校を活用していく。以上が私の考えです。

それでは、皆様のお考えをお聞かせ願います。

長嶋教育長職務代理者

私は6年前に吉見町立学校あり方研究協議会に入っており、当時は小学校の統合について慎重な意見も多くありました。しかし、保護者アンケートを行ったところ、1学年2～3学級ある学校にしてほしい。多くの仲間と交流しながら学ばせたい。クラス替えをすることができるような学校がよいなどという意見が多くありました。この

結果をうけ、児童数が減っていく中で、それを実現するにはどうすればよいのかという話し合いを進める中で、なるべく早い段階で小学校を1校に統合したほうがよいという意見に集約されたことを覚えています。

それと、私自身、東第一小学校に勤めていた時、廊下やトイレが老朽化しており、暗いイメージがありました。また、職員用のトイレが無く、大人が用を足すといった時間が、いいかげんに扱われているという感じも持ちました。トイレでは、用を足す、或いは1人で考え事や、笑顔の練習をすることもある。そういう時間が持てるトイレは大切なのかなと思います。保育所が統合して一つになり、トイレがとてもきれいになりました。また、中学校も立派なトイレになっています。私が東第一小学校の校長の時に、教育委員会に廊下の塗装やトイレ改修などの見積を取ってお願いしたことがありましたが、1町1校の中学校にはお金がかけやすい、これから統合が考えられる小学校にはお金がかけられないという感じがありました。今後の児童数の減少を考えると1町1校の小学校にすることで校舎も新しくなる。学ぶ施設も充実する。体が不自由な子たちにも、のびのびと使えるバリアフリーのトイレも作れる。そのようなことを踏まえ、1町1校の小学校でいいと思います。

また、もう一つの私の思いは、「ワクワク感」です。教育委員会などで小学校の統合の話をするときに、子供や保護者がワクワクするような学校環境を作ろう。そういうところで学ばせてあげようという話し合いを進めてきました。将来を考えたときに、良い校舎を作り、良い学びをすることで、町外の人や、これから家庭を持つような若い世代の人たちに訴える力があるのではないのでしょうか。教育にお金をかけアピールすることは都市計画や、町に人を呼び込むという意味でも大事なことだと思います。建物の耐用年数は50～60年などと聞きますが、今が小学校を1校に絞り、教育にお金を費やして、新しいものを作り、教育に力を入れているという姿勢を見せられるチャンスなのではないのでしょうか。吉見中学校も校舎を建てたときに天体望遠鏡を作りました。あれを作ったときは埼玉一の学校にしようとか、日本一の学校にしたいといった思いがあったのかと想像できます。そうした意味では、この50～60年に一度の大事業を町長中心に作り上げることはとても大切ではないかと思い、私は1校に統合することを強く勧めます。

高木委員 先ほど町長がおっしゃっていた、良い学校で、良い環境で子供たちに過ごしてほしいというところでは私もそのように感じていますが、私も長嶋教育長職務代理と同様に1校に統合することに賛成しています。理由としては、1つの学年に複数の学級ができることによって、子供たちに様々な人と接する機会を増やしてあげたい、また、それを確保することがとても重要だと感じています。私自身も吉見町で子育てをした経験者として、集団教育の良さというものはとても理解しています。今の子供たち、保護者の方はすべての小学校でクラス替えのない単学級になっていますが、やはり、一つにまとまって、様々な人に接し、そこから違った視点に気づくことにより、学びも深くなると思いますし、その中で社会性も身につくと感じています。また、子供たちだけでなく、先生方にも横のつながりができてメリットが大きいのではないのでしょうか。保護者にとっても、保護者同士の情報交換などを通して知識が増え、子育ての

幅が大きく広がっていくと思います。これは子供たちにとってプラスの作用で働くと思います。子供たちには、多くの友人や人との関わりをもつことを経験させられるよう私は願っています。

また、先日、東第一小学校と西小学校を視察いたしました。実際に現場を見せてもらい、床の剥がれや、雨漏りなどがある状態で、東第一小学校に関しては、水道の蛇口を閉めても水が止まらずに使用禁止になっているというところを目の当たりにして、私の想像以上に老朽化が進んでいました。今現在、この学校で学校生活を送っている子供たちのことを考えると、早い段階で対策をとる必要があると感じました。

田村委員 6月の広報紙に掲載された町長の所信表明で「皆様の声を聞きながら教育の質を維持しつつ小学校の統合を進める」という言葉があり、このように意見交換の機会を持っていたことに感謝しています。

私は、現在6校の小学校ですべて単級という状況は、町の大きな課題であると思います。児童数の減少が進んでしまうと、将来的に1クラス10人以下になってしまう状況の中で、小学校の統合再編はできるだけ急ぐべき課題だと強く思っています。令和元年度から、あり方研究協議会、学校適正規模等検討委員会など、多くの委員さんの協力を得て、いろいろなことを進めてきてくださいました。私は、1校での統合再編を進めていくことを強く望んでいます。それは、大きく3つの理由からです。

1つ目は、クラス替えができる2学級以上にできることです。2学級以上を確保するには、人数が必要であるからということであり、子供たちには、集団の中で、しかも複数の学級で、クラス替えができるような状況で生活していくことが望ましいのではないかと思います。統合を2校にした場合では、令和9年度にはもう単級になってしまう推計が出ています。やはり、統合は1校にしていくことが大切なのではないかと思っています。

2つ目は、学校の老朽化がどこもかなり進んでいるところです。今後、修繕をして使用していくにしても、もう限界なのではないかと思っています。先日、東第一小学校と西小学校を見学させていただきました。子供たちは教職員と協力し、丁寧に掃除をして、清潔な環境を保ち頑張っていることが伝わってきました。しかし、その老朽化への対応は、2校に統合にした場合ではかなりの金額がかかるのではないのでしょうか。ここは1校に統合にして、新しい校舎で子供たちに学ばせてあげたいと強く思います。

3つ目は、子供たちのことを一番に考える町であってほしいという視点です。子供たちは、校章などを考え、応募し、ワクワクしながら開校を心待ちにしていました。そんな子供たちにどう説明するのか、とても不安になります。また、吉見町のことが好きで、将来的にもこの地で過ごしたいという気持ちを持ってもらうことが大事なことでと思いますし、小学校を一つに統合することは、神田町長が広報でおっしゃっていた「消滅可能性自治体から脱却し、輝く町に変える」ということにもつながっていくのではないかなと思います。新しくきれいな校舎で、子供たちが生き生き過ごしている学校があることは、他の市町村にもアピールでき、そこから人口を増やしていく一つの手段になるのではないのかと思っています。

平川委員　私も先日、東第一小学校と西小学校を見学させていただいて、ここまで大変な状況なのかということを目の当たりにいたしました。また、東第一小学校は、駐車場が全くないという問題がありますし、私もできれば1校に統合していただきたいという思いがあります。

町長のお考えで、いろいろと伺ってからでないとと言えない部分もあり、具体的などころが見えてこないで、それを聞いてから改めて質問をさせていただきます。

岡崎教育長　私は町の3役の一人として、町長が考えるまちづくりのために、意を体する立場にあり、それを教育行政に反映させていくのが教育長の役割と考えています。町長の考えるまちづくりにおいて、都市計画や人口減少を食い止めたいという視点で、小学校統合に対する考えを伺うことができました。教育行政としてその実現が図れるよう教育委員会の事務を統括するのが教育長の立場であります。私も1町民として、小学校の統合再編についての個人的な考え、また、教職にも長く携わっていましたので、よりよい教育効果を上げるためにはどういう方法がいいのか自分なりの考えも持っています。しかし、尊重すべきは、この小学校統合再編について、令和元年から、あり方研究協議会等に始まる各種会議やアンケート結果を通じて多くの議論をし、教育委員会の合議に基づき1校に統合することが決定されている事項であります。また、議会の議決も経て、吉見町の小学校は1校で設置するということが決定されていますので、今の私の立場からすると、この条例が改正されるまでは、教育委員会として小学校のあり方については1校への統合を進める立場であります。

久保田委員長　この統合再編については、私は最初からかかわった一人として、1校というのは今後も私のスタンスの中で変わらないものとしてとらえています。このように総合教育会議等を開くことによって、皆さんで吉見町の学校教育について意見交換の場を設定していただければ、町長に協力を申し上げたいという考えですので、御理解をいただきたいと思います。

私が小学校の統合再編について、委員の職務を依頼されたときに、私は悩みました。私の中では吉見町の教育改革は10年遅れているととらえており、もう既に他の市町村では学校の統合再編に手を付けていました。吉見町だけが学校教育をどうするのかといった話し合いがなされていませんでした。これでは吉見町の将来について、禍根を残すのではないかとということで、当時の教育長から依頼を受けて、あり方研究協議会を立ち上げ、様々な人からの意見を伺いながら7年間進んでまいりました。教育改革の流れは必須であり、避けて通ることはできません。では、何が吉見町の将来や子供たちにとって一番いいのかということ、この総合教育会議に呼んでいただければ、話し合いを重ねながら吉見町の将来に向かって推進していきたいと考えていますので、この教育改革の流れを一層推進していただきたいとお願いを申し上げます。

小池副委員長　町長がこの小学校の統合再編に強い思いを持たれているということに深く感謝申し上げます。私の思いとしては、新しい年度の初め、子供たちの一番の関心事、思いは、

誰と同じクラスになるのかなというドキドキ感だと思います。この胸のときめきを小学校1年生から6年生までの全児童に持たせてあげたい、そのためには1年から6年までの全学年が2クラス以上ないと、胸のときめきを持たせてあげることができません。ぜひこの思いを子供たち全員に持たせていただけないでしょうか。切にお願い申し上げます。

町 長 貴重な意見を聞かせていただきありがとうございました。

私の考えは、先ほど述べたように東第一小学校と西小学校を活用する考えであります。できるだけ皆様のご意見を尊重しながら、これからのまちづくりを考えていきたいと思っています。また、トイレについても議員時代に何回か視察をさせていただいたが、職員用のトイレなど、まだ配慮に欠けているところがあったなど、皆様のご意見は大変参考になりました。その中で、予算的な問題がありますが、特に心配しているのが、全体予算がいくらになるのかということです。町の中を見ると様々な予算がありますが、果たして学校統合にいくらかかるのか、スクールバスはどうなるのか、子供の安全性など様々な課題があると考えます。

今後も、教育委員さんなどに、貴重なご意見を、またお聞かせ願えればと思います。委員の話というのは前向きな意見がありますので、大変参考になりました。この町には小学校は6校あります。それをどう統合するかというのは大変難しい問題だと思っています。住民の意見も聞かなければならない。以前アンケートを取った当時と、今とでは住民の考え方も違うと思います。これから結婚する世代や子供が小さい人などのご意見も、もう一度参考にしていきたいと思っています。

先ほどの高木委員の話にあった、学校の破損箇所について、破損箇所などは担当課で把握し、修繕しなければいけないと思うが、担当課はどう考えていますか。

教育総務課長 修繕については、課として把握する中で予算要求等をしています。限られた予算の中で、必要最低限のものを修繕しています。特に東第一小学校の雨漏りについては、何年も前から雨漏りをしており、修繕もしていますが、施設自体がもう古いので、修繕しても一時的には直るが、なかなか直しきらないという状況にあります。

町 長 担当課として早めに対応していただきたい。そこを利用し、学んでいる子供もいるので、費用をかけてでも環境面も整えてほしい。

平川委員 子供たちの将来、未来を考えたときに、町長は、1校に統合するのがいいのか、2校に統合するのがいいのかといたら、やはり2校に統合する方がいいとお考えなのですか。

町 長 人口が減少している中で、将来的には、いずれ1校にしなければならないとも思っています。しかし、今は財政的に厳しい状態にあります。また、多くの施設が老朽化しており、修繕や改修などに必要な費用の増加が見込まれます。

統合に関しては、場所が中学校の敷地内というのも疑問です。子供たちの通学距離や

スクールバスなどについてもまだ議論が足りていないので、私はそういう面で、もう一度考えていただきたいと思います。私は2校でも1校でも統合には賛成だが、学校の位置は大切であり、1校に統合した場合、場所は人口が一番増えている場所に必要なのではないか。子供の環境は良くしたいが、校舎を修繕するにも雨漏りやトイレの問題なども考えなければならず、とても難しい問題です。学校統合は町の人口とのバランスをみながら検討したいと考えています。

久保田委員長 30年前とは日本の人口が違うと思います。市街化区域の人たちは高齢化により、土地が維持できなくなっています。また、30年前に土地を買って子どもを育てた人たちも、高齢化して住んでいない状況が増えています。町長お考えの、市街化区域を核として活性化する案も反対ではありませんが、ある一定の時期は人口が増えると思いますが、ある時期を過ぎると、日本の人口が減っている中では、新しい人を誘致するといっても現状では難しいと思います。新しく家が建てられている反面、年齢的に維持管理が難しくなり、売りに出している人もいるという現状もご承知いただいた上で、この問題を町がもう一度整理して、新しい人たちを呼び込むという施策ができれば歓迎したいと思っています。

町 長 人口減少は避けて通れないと認識しています。また、学校の統合やスクールバスの関係などについて、通学路の話もスクールバスに係る費用なども精査されていないので、一概に1校に統合することはできないと考えています。2校にすればバスの台数は減り、運行費も安くなるので、よく考えなければならないと考えます。

今は小学校統合再編について一旦止めていますが、これからも皆様の意見や議会との討論など、それぞれの考えもあるので、いろいろと精査したいと思います。またこのような会を開かせていただきたいが、いかがでしょうか。

事務局 ただいま町長から、引き続き、総合教育会議等で皆様のご意見をいただきたいというお話がございました。現在の小学校統合再編事業については、一旦立ち止まっている状況であります。町長の所信表明にもありましたが、一旦立ち止まって、いろいろな方の御意見をいただく、その一つがこの場であり議会でもあります。また、今後住民の方等に御意見を伺うような場面があるとすれば、それらも踏まえて、この総合教育会議等を開催し、小学校統合再編についての方向性を示していただき、教育委員会として、事業を進めたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

(2) その他

(特になし)

4 その他

(特になし)

5 閉 会

教育総務課長 以上をもちまして、本日の会議を、閉会とさせていただきます。
ありがとうございました。